

2027年国際園芸博覧会
環境影響評価方法書に対する
意見書の概要及び事業者の見解

令和4年7月

方法書に対する意見書の概要及び事業者の見解

横浜市環境影響評価条例に基づき「2027年国際園芸博覧会 環境影響評価方法書」に対し、21通の意見書（延べ意見数38件）が提出されました。

意見書の概要及び事業者の見解は、表1に示すとおりです。なお、意見書の概要是、個別のご意見の主旨を踏まえ、類似意見を集約したものです。

表1(1) 意見書の概要と事業者の見解

項目	細目	意見書の概要	事業者の見解
事業計画 全般		園芸博覧会の開催を希望します。	気候変動等の世界的な環境変化を踏まえ、花と緑との関わりを通じ、持続可能で幸福感が深まる社会の創造に寄与する博覧会にしていきます。また、適切な環境保全対策や来場者等の安全確保等を検討しながら、多くの来場者に楽しんでいただけるような魅力的な博覧会にしていきます。
		にぎわいエリアを含め、自然公園と営農地として活用することを強く求めます。	本博覧会の開催後は、会場区域の大半は横浜市の公園となると認識しております。また、横浜市が策定した土地利用基本計画による土地区画整理事業対象区域内に農業振興地区が配置されていると認識しています。
		旧上瀬谷通信施設の広大な土地を造成することに反対です。本博覧会は、自然の地形を生かして開催してください。	本博覧会は、横浜市が実施する土地区画整理事業による造成や公園整備事業による園路・植栽等の基盤整備の実施後に開催します。本博覧会の会場整備では大幅な土地改変は行いません。気候変動等の世界的な環境変化を踏まえ、花と緑との関わりを通じ、持続可能で幸福感が深まる社会の創造に寄与する博覧会にしていきます。また、適切な環境保全対策や来場者等の安全確保等を検討しながら、多くの来場者に楽しんでもらえるような魅力的な博覧会にしていきます。
		上瀬谷の環境を元通りにしてください。外来植物等の持ち込み、交通渋滞及び来場者等の密集を避けるため、本博覧会の開催を中止してください。	
		テーマに、「幸せを創る明日の風景」とあるが、田畠を潰し川を暗渠にするなど現在の自然環境を破壊して開催する意味が理解出来ません。米軍基地であったために奇跡的に残った緑地なので、自然と相容れないものをつくるのではなく、広大な里庭などの「自然と人間を結ぶ中継地点」にしてください。	
		本博覧会が、自然景観を破壊し、借金が残つただけになることを危惧しています。オランダのアルメーレで開催中の国際園芸博覧会については、想定来場者を大幅に下回っているとの報道があり、本博覧会の運営も上手くいかないと考えます。予算が足りなくなつた場合や入場者が少なく赤字になった場合には、誰が補填するのか明確にしてください。横浜市民の税金を使わないと約束してください。	「令和九年に開催される国際園芸博覧会の準備及び運営のために必要な特別措置に関する法律」により、本博覧会協会が本博覧会の運営主体として指定されています。有料来場者数については、過去の博覧会の実績及び首都圏の後背人口などから1千万人を想定しております。本博覧会協会としては、適切な運営により、魅力的で上瀬谷らしい博覧会にして、多くの方にご来場いただき、ご満足いただけるよう努めてまいります。

表 1(2) 意見書の概要と事業者の見解

項目	細目	意見書の概要	事業者の見解
事業計画	全般	主要な交通手段や充分な駐車場スペース、周辺の交通安全や渋滞対策を確保できない今まで、目標とする来場者数を1千万人とする事業計画を見直してください。静かでうるおいのある令和時代の上瀬谷らしい博覧会にしてください。環境に配慮をするのであれば、1千万人の来場者の想定を破棄することを審査会として提言すべきです。審査会は、市民を苦しめるこの計画を見直すようにどうか提言し、動植物・市民の環境のために審査を行ってください。	有料来場者数については、過去の博覧会の実績及び首都圏の後背人口などから1千万人を想定しております。魅力的で上瀬谷らしい博覧会にして、多くの方にご来場いただき、ご満足いただけるよう努めてまいります。また、輸送計画については、安全を確保するとともに、渋滞を回避、低減できるよう、ハード・ソフト両面で検討を進めていきます。
	生物多様性の保全	来場者数が想定どおり1千万人になれば、現在の自然環境に影響が生じると考えます。	現在の自然環境等への影響をできるだけ回避、低減するため、適切な環境保全対策等を検討していきます。
	植物計画	絶滅危惧種の住む里山を破壊して、水路の切り回し・暗渠化、土地の改変をすることに反対です。生物多様性の保全は川の流れを変えてしまうので難しいと考えます。現状の草地・樹林・水辺・湿地を減らさないようにしてください。また、暗渠化する理由を市民が納得できるように説明する義務があることを踏まえて審議してください。	本博覧会は、横浜市が実施する土地区画整理事業による造成や公園整備事業による園路・植栽等の基盤整備の実施後に開催します。本博覧会の会場整備では大幅な土地改変は行いません。相沢川及び和泉川については、横浜市が本博覧会の会場区域内に保全対象種の生息環境を創出することになっていると認識しています。
	緑の保全と創出	外来植物の持ち込みによる種子や付着した有害虫等の拡散が懸念されます。	本博覧会協会としては、外来植物の持ち込みによる種子や付着した有害虫等の拡散防止に向けて、ガイドライン等を作成して出展国等に周知を行います。
	輸送計画	既存樹木と喪失する樹木の総数と喪失数、区域と面積を図面で公開してください。	本博覧会は、横浜市が実施する土地区画整理事業による造成や公園整備事業による園路・植栽等の基盤整備の実施後に開催するため、既存樹木等の数については把握していません。なお、本博覧会では、既存樹木について、横浜市と連携・協力しながら、保全活用する予定です。
		会場に隣接した駐車場とパークアンドライドの駐車場だけでは必要台数が不足しており、実現可能な輸送計画になっていないと考えます。また、環状4号線は渋滞するので、来場車両が並ばないような駐車場の配置にするとともに、想定以上の来場車両に備え、十分な台数の臨時駐車場も計画してください。	駐車場の規模や配置等も含め、本博覧会の輸送計画については、周辺交通の影響を出来るだけ低減できるよう、ハード・ソフト両面で検討を進めていきます。
		環境負荷が大きいので、駐車場を予約制にするなど、車での来場者を制限し、駐車場の規模も縮小すべきだと考えます。	
		瀬谷駅のシャトルバスのバスターミナル設置場所を早急に決めるべきだと考えます。	瀬谷駅も含め、今後、シャトルバスの発着場所やルート等を選定していきます。

表 1 (3) 意見書の概要と事業者の見解

項目	細目	意見書の概要	事業者の見解
事業計画	輸送計画	高速道路のインターチェンジを新設する場合は、パークアンドライドを中止するべきだと考えます。入場者数も現実的なレベルに見直し、鉄道駅からのシャトルバスを制限するべきだと考えます。駐車場やシャトルバスの利用が少ない場合は、赤字となって市民が負担することになるので、輸送計画を見直すべきだと考えます。	新たなインターチェンジについては、市がこれから検討に着手すると聞いており、現時点では本博覧会の輸送計画では想定していません。輸送計画は、現在、検討を進めており、駐車場については、必要な規模や配置等を踏まえた検討を行います。シャトルバスについては、定時性や速達性等を考慮し、また、必要な輸送力を整理し、ルートや本数等を選定していきます。
		輸送計画については、現在の瀬谷駅のインフラでは対応が困難であり、パークアンドライドも対策として古い発想であると考えます。	
		環状4号線など東西方向の路線を通行止めに出来ないので、パークアンドライドの実施に伴う渋滞が発生して、周辺環境への影響が生じると考えています。	
		パークアンドライド駐車場については、本博覧会会場までの交通混雑や環境の変化を全く調査しておらず、杜撰な調査のまま駐車場の場所を決定すると予想外の事故や渋滞を招くことになると見えます。また、駐車場を設置する場合は、説明会を開催するなど周辺住民の了解を得るべきだと考えます。説明会ではパークアンドライドの駐車場を泉区の深谷通信所跡地に設置したらどうかというご意見があったようですが、北方には始終混雑している立場交差点があるので、深谷通信所跡地には駐車場を設置しないでください。	パークアンドライドも含め来場者を円滑に輸送できるよう、本博覧会の輸送計画について検討を進めています。駐車場を設置する際には、必要に応じて周辺自治体など関係機関と調整するとともに、周辺の皆様にご理解が得られるよう努めてまいります。
		パークアンドライドの駐車場については、本博覧会会場の10km圏内に設置を検討していると聞いていますが、町田市など周辺自治体との調整状況について教えてください。	
		交通安全について、大和市など本博覧会会場の周辺自治体と早急に調整してください。	本博覧会の交通安全については、輸送計画を検討するなかで、必要に応じて関係機関とも調整してまいります。
環境影響評価	全般	「2027年国際園芸博覧会環境影響評価方法書」となっていますが、周辺も開発し、博覧会後は横浜市の公園になるのであれば、上瀬谷(米軍通信施設跡を含む)全体の環境影響評価として実施すべきだと考えます。土地区画整理事業の環境影響評価において審議が不十分な点について、審査委員と市民にわかりやすく資料を公開してください。	本博覧会は、横浜市環境影響評価条例の対象事業に該当することから、同条例に基づいて環境影響評価を実施するものです。横浜市による土地区画整理事業及び公園整備事業については、関係法令等に基づき、別途、環境影響評価を実施しています。なお、本博覧会における環境影響評価では、土地区画整理事業及び公園整備事業による複合的な影響も踏まえ、予測評価することになります。
		横浜市の緑被率は低下しており、緑の減少はCO2の増加や異常気象の要因であることを踏まえ、環境影響評価を実施してください。	本博覧会会場においては、グリーンインフラを活用し、緑のネットワークや水の循環等を考慮した、新たな緑の創出を図ります。また、本博覧会では既存樹木については、横浜市と連携・協力しながら保全活用する予定です。これらのこと踏まえ、本博覧会の環境影響評価を実施します。

表 1(4) 意見書の概要と事業者の見解

項目	細目	意見書の概要	事業者の見解
環境影響評価	全般	横浜市と本博覧会協会との関係や使われている用語、説明会の動画など、本博覧会の環境影響評価手続きや説明が分かりづらいので改善してください。	本博覧会の環境影響評価手続きについては、本博覧会協会の設立により、横浜市から本博覧会協会に事業承継しています。準備書では専門用語の解説を記載するなど、本博覧会の環境影響評価手続きが分かりやすくなるよう努めています。
	地域社会	新交通システムの計画が頓挫した影響で、土地区画整理事業の環境影響評価時とは環境影響評価の前提条件が変わったと考えます。	本博覧会の環境影響評価については、新交通システムを利用しないことを前提に予測評価を行います。
		相沢地区や東野地区などを通過する来場車両を考慮しておらず、交通混雑や歩行者の安全について、調査地点が少な過ぎると考えます。	本博覧会の環境影響評価方法書では、会場周辺の主要な交差点等を調査・予測地点として選定しており、交通混雑や歩行者の安全について予測評価できると考えています。
	生物多様性の保全	多種多様な動植物が生息する上瀬谷を次の世代に残したいと考えています。自然が壊されることの評価も行うべきであると考えます。	本博覧会の環境影響評価では、植物など生物多様性について環境影響評価項目として選定し、準備書において予測評価することにしています。植物など生物多様性への影響をできるだけ回避、低減するため、適切な環境保全対策等を検討していきます。
		オオアカバナなどの貴重な植物の生育地であることを無視し、人工的な自然にしようとしていると考えます。また、成功しない場合もあるため、移植さえすれば良い訳ではないと考えます。	
	大気質、地域社会	輸送計画における大気汚染に関する負荷について、具体的な数値を示してください。また、騒音と渋滞と振動に対してちゃんと説明がありませんでした。しっかり生活環境を保全してください。	大気質、騒音、振動については、数値を含め準備書で予測評価します。また、輸送計画については、安全を確保するとともに、渋滞を回避、低減できるよう、ハード・ソフト両面で検討を進めています。
	大気質	旧上瀬谷通信施設は横浜のオアシスのような環境ですが、方法書に気温に関する記載がないため、博覧会の実施前、実施中、実施後の測定が必要であると考えます。	本博覧会において大幅な気温の変化を及ぼす行為等は行わないため、環境影響評価項目としていません。なお、本博覧会では横浜市環境影響評価条例等にもとづく配慮事項として、グリーンインフラの実装などにより、ヒートアイランド現象の緩和に努めることとしています。
	水環境	環境影響評価を行うにあたっては、水環境を完全に把握し、水量、面積等を公開して、市民が納得できるように説明してください。	水環境については、湧水の流量、河川の流量について環境影響評価項目として選定し、予測、評価することとしています。
	土壤汚染	本博覧会会場の周辺では土壤汚染物質が検出されており、対策がどうなるのか早く示してください。環境影響評価項目に土壤汚染を選定すべきです。また、旧上瀬谷通信施設全体の調査結果が明らかになっておらず、検出されたフッ素の形や旧日本軍が保管していた毒ガスについても確認がとれていないと考えています。また、土壤汚染や毒ガスが新たに発見された場合には、誰の責任で解決するのか明確にしてください。	土壤汚染については、横浜市が土地区画整理事業において適切に対応することになっていると認識しています。また、本博覧会協会としては、毒ガス弾が埋められていたという事実は把握していません。なお、本博覧会の会場整備では大幅な土地改変はしませんが、何か対策等が必要になった場合には、法令等に基づき適切に対応していきたいと考えています。

表 1 (5) 意見書の概要と事業者の見解

項目	細目	意見書の概要	事業者の見解
その他 関連事業		土地区画整理の環境影響評価書では、「草地の喪失は全体の4割、水辺・湿地は2割の喪失」となっていますが、わからないので博覧会の環境影響評価の資料として区域と面積を図面で公開してください。	本博覧会は、横浜市が実施する土地区画整理事業による造成や公園整備事業による園路・植栽等の基盤整備の実施後に開催します。本博覧会の会場整備では大幅な土地改変は行いません。なお、横浜市が実施する土地区画整理事業の環境影響評価手続きについては、土地区画整理事業の環境影響評価手続のホームページなどでご確認ください。
		公園整備事業の対象区域が増えることにより、樹林、草地、水辺・湿地の喪失面積が土地区画整理の環境影響評価書より減る場合は、変更前との相違について面積や場所を公開してください。	公園整備事業については、別途、横浜市が環境影響評価手続きを進めています。ご意見があつたことは横浜市にお伝えします。
		右折車両が多いため朝の渋滞が著しいので、環状4号線の中瀬谷消防署から20m北の交差点に右折車線を増設してください。また、現状ではクランク状になっている交差点を十字路に改良してください。	環状4号線の交差点の改良については、横浜市の土地区画整理事業での対応となります。ご意見があつたことは横浜市にお伝えします。なお、クランク状になっている交差点については、十字路になると聞いています。
		県道瀬谷柏尾線は瀬谷中学校の通学路となっているが、歩道がなくて非常に危険であるため、土地区画整理事業の実施区域内の北側に中学校を新設してください。	土地区画整理事業実施区域内への中学校新設について、ご意見があつたことは横浜市にお伝えします。
		博覧会会場エリアのうち、開催後公園となる区域の盛土・切土、調整池の場所、相沢川の開渠部等について公開してください。	公園整備事業については、別途、横浜市が環境影響評価手続きを進めています。本博覧会は、横浜市が実施する土地区画整理事業による造成や公園整備事業による園路・植栽等の基盤整備の実施後に開催します。本博覧会の会場整備では大幅な土地改変はしません。なお、調整池と相沢川の整備については、横浜市が実施するため、土地区画整理事業の環境影響評価手続のホームページなどでご確認ください。
		環状4号線の桜並木を伐採しないでください。	環状4号線の桜並木については、老木化が進んでいるため、本博覧会や新たなまちづくりをきっかけとして、自然との調和を次の世代につなげていくという考え方から、この機会に桜をしっかりと再生していく必要があると聞いています。ご意見があつたことは横浜市にお伝えします。
		テーマパークの誘致はやめてください。コロナ禍を経験して、一極集中的に人を集めることの不自然さや危険性を再確認しました。	テーマパークの誘致については、横浜市が実施する土地区画整理事業の中で、地権者の皆様による協議会が検討を進めていると認識しています。ご意見があつたことは横浜市にお伝えします。